

「石川県内の公共建築物・公共土木工事等における木材利用方針」
に基づく県産材利用状況の公表について

令和2年9月

県では、平成10年度に全庁横断組織として「石川県産材活用推進プロジェクトチーム」を設置し、公共建築物の建設や公共土木工事において県産材を活用してきており、また平成22年に施行された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律（平成22年法律第36号）」に基づき、「石川県内の公共建築物・公共土木工事等における木材利用方針」を平成23年に策定し、県のこれまでの取組をさらに促進し、県産材需要の拡大に努めております。

この度、令和元年度に県が実施した公共建築物の整備及び公共土木工事等における県産材の利用状況について、「石川県産材活用推進プロジェクトチーム」において下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

記

1. 令和元年度県産材利用量

建築工事 181m³、土木工事 552m³ 合計 733m³

2. 令和元年度の主な県産材使用事例

白山室堂公衆トイレ



所在地：白山市白峰地内
事業内容：平屋建て
構造：木造
県産材利用量：20m³

二級河川 三谷川 棧橋



所在地：加賀市大聖寺
耳聞山地内外
事業内容：棧橋補修工
県産材利用量：13m³